

報道各社御中 ← 環境省広報室

北海道での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う野鳥緊急
調査チームによる調査の結果について
(H28.12.17 15:30)

北海道北見市において12月2日及び8日に回収されたオオハクチョウから高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されたことを受けて、12月15日(木)～17日(土)に野鳥緊急調査チームを現地に派遣し、現地の野鳥の生息状況などの調査を実施しましたので、以下のとおり結果をお知らせします。

1 調査結果

12月15日～17日にかけて、北海道北見市の発生地点周辺半径10km圏内の野鳥監視重点区域内を中心とした渡り鳥の飛来地等の計13地点において生息状況調査、死亡野鳥調査等を実施。

なお、調査チーム派遣期間内に、北海道による当該10km圏内の監視においても検査対象となる死亡個体の回収等の異常は確認されなかった。

(参考)

- 観察された鳥類 27種
- うち、リスク種1 3種 (オオハクチョウ、オジロワシ、オオワシ)
- リスク種2 3種 (マガモ、オナガガモ、スズガモ)
- リスク種3 10種 (カワアイサ、ホオジロガモ、シロカモメ等)

*本調査結果は暫定値です。

*リスク種とは：「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種を中心に設定

2 今後の対応

野鳥監視重点区域において、北海道と連携し、引き続き野鳥の監視を実施。

※ 環境省はホームページで高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)

平成28年12月17日(土)

自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室

直 通：03-5521-8285

代 表：03-3581-3351

企 画 官：東岡 礼治 (内線6475)

鳥獣専門官：根上 泰子 (内線6676)

公用携帯1：080-2333-6933

公用携帯2：090-8940-8582

北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所

野生生物課

直 通：0154-32-7500

企 画 官：藤井 好太郎

自然保護官：福地 壮太